

「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をとおして、常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、効率的で自立した病院経営を推進します。



令和8年度 新採用者・異動者

摂食嚥下障害看護認定看護師の紹介

あわら病院に、摂食や嚥下に困難を抱える患者さんに対して、専門的なケアを提供する摂食嚥下障害看護認定看護師が誕生しました。この摂食嚥下障害看護認定看護師の活動として、患者さんの摂食嚥下機能の評価を行い、嚥下訓練や食事介助・口腔ケアを実施し、安全に食べるための支援を行います。また、ご家族や医療従事者に対して、摂食嚥下に関する指導や教育を行い、誤嚥性肺炎の予防や患者さんの生活の質の向上を目指します。

さらに、摂食嚥下障害看護認定看護師と医師・薬剤師・栄養士・言語聴覚士等の多職種とも連携して、摂食嚥下ケアの知識の普及と技術の向上を図り、チーム医療を推進していきます。

これからも、患者さん、地域住民のみなさん、地域の医療従事者のみなさんの「多くの人の笑顔のために」医療・看護に取り組んでいきます。



看護部長
熊取谷 かおる

感染症

内科医師 伊藤 和広

今回の話題は、定期接種ワクチンについてです。

成人・高齢者では、肺炎球菌感染症や带状疱疹など、加齢に伴い重症化や後遺症が問題となる感染症があります。高齢者肺炎球菌ワクチンは2026年4月から、従来のPPSV23からPCV20へ変更されました。PCV20は結合型ワクチンで、より長期の免疫効果が期待され、定期接種では原則1回接種となります。また、带状疱疹ワクチンは2025年度から定期接種となり、対象は65歳の方を基本に、2029年

度までは70、75、80、85、90、95、100歳の方も経過措置の対象です。带状疱疹では皮疹後神経痛が残ることがあり、生ワクチン1回または組換えワクチン2回から選択します。

接種券、対象年齢、接種歴を確認し、対象年度内の接種を検討しましょう。



「持てる力」を活かした関わり

3階病棟看護師長 稲垣 リサ

当院では、重症心身障がい児(者) 個々の「持てる力」を活かした生活支援や機能維持に取り組んでいます。日々関わり



りの中で小さな表情の変化にも目を向け、患者さんの思いを受け止めることを大切にしています。得られた情報は、医師や看護師、療養介助員、理学療法士、療育指導室のスタッフとカン

ファレンスで共有し、個々に応じた支援方法の検討につなげています。

患者さんは言語による意思表示が困難であるため、言葉にならない声や表情、行動などを通して看護師にサインを発しています。そのわずかなサインを捉え、多職種で情報を共有し支援につなげることが大切だと考えます。患者さんがその人らしく安心して日常生活を送ることが出来るように、これからも「持てる力」に目を向け支援していきます。

新人看護師研修

教育担当看護師長 尚和 敬宗

新年度のスタートとともに看護部には2名の新人看護師が入職し、3か月が過ぎようとしています。あわら病院は国立病院機構のラダー教育制度を基に、新人看護師が看護実践に必要な基本的能力を習得できるよう、集合研修と現場教育を連動させた教育計画を立案し研修を実施しています。社会人として、専門職業人として1年間の目標を達成し成長できるよう、チームで新人看護師を支援しています。

また本年度は新たな取り組みとして、国立病院機構石川病院と合同リフレッシュ研修を実施します。自然豊かな近

隣施設を活用し、緊張の多い業務から一時的に離れて心身のリフレッシュを図るとともに、地域の医療スタッフとのつながりを深めてもらいたいと考えています。

今後も職員一丸となり、地域で活躍する専門職の育成に努めてまいります。



在宅医療における輸血の現状と課題

臨床検査技師長 角谷 勇実

在宅医療の広がりに伴い、在宅輸血への関心が高まっています。通院困難な患者さんに対し、自宅で輸血を実施できることは、生活の質の維持や身体的・心理的負担の軽減に大きく寄与します。また、終末期医療においても患者さん・ご家族の意向に沿った医療提供が可能となる点で重要です。



一方で、安全な実施には適切で慎重な判断、輸血前検査の確実な実施、製剤の適切な保管管理や副反応への迅速な対応体制の整備が不可欠です。さらに、医師・看護師・臨床検査技師の密な連携に加え、緊急時の搬送体制や後方支援病院との連携も重要となります。在宅という限られた環境下だからこそ、標準化された手順と多職種連携を基盤とした運用が求められ、今後は地域全体で支える体制構築が鍵となります。



地域医療連携施設のご紹介

あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

シン内視鏡・外科クリニック

当クリニックは、専門医と専門スタッフによる質の高い医療を提供するクリニックとして、2002年7月に開院いたしました。

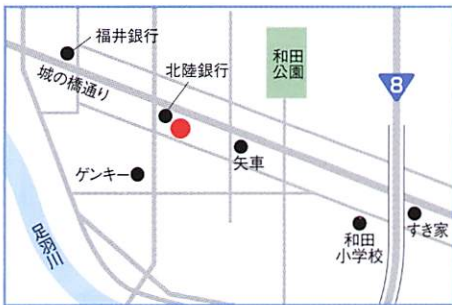
20年以上にわたり内視鏡検査や腹部外科治療に携わってきた経験を活かし、「高精度で苦痛の少ない検査」と「質の高い日帰り手術」の提供に尽力しております。特に内視鏡検査(胃・大腸カメラ)においては、精度の高さはもちろん、鎮静剤の活用などにより、多くの方が苦手意識を持つ検査をより身近に、安心して受けていただける体制を整えております。(※鎮静剤の使用は状態に合わせて柔軟に対応しております。)

また、外科手術(鼠径ヘルニア・胆嚢結石)についても、麻酔科専門医による適切な全身麻酔管理のもと、体への負担が少ない腹腔鏡下の日帰り手術が可能です。手術後のアフターケアも徹底しておりますので、安心してお任せください。

現在では福井市内のみならず、坂井市や奥越、嶺南など広域から多くの患者様にご来院いただいております。お忙しい方でもスムーズに受診いただけるよう、24時間対応のWEB・アプリ予約を導入しているほか、お電話での事前相談も随時承っております。

地域の皆様には選ばれるクリニックを目指し、これからもスタッフ一同、一人ひとりの声に真摯に向き合いながら診療に取り組んでまいります。

院長 田畑 信輔



胃・大腸カメラ、日帰り手術専門(大腸ポリープ切除・腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術)



シン内視鏡・外科クリニック

〒910-0855 福井県福井市西方1-1-7

TEL:0776-50-7330 FAX:0776-50-7331



在宅医療を支える看護

訪問看護ステーション 看護師長 道野 従子

当院は在宅療養支援病院として地域医療を担っており、住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう訪問診療や訪問看護を提供しています。訪問看護では在宅での医療が継続できるよう、利用者さんの健康状態や生活状況を観察し、状態変化の早期把握に努め、アセスメント及びカンファレンスを重ねながら、適切なケアが行えるよう、個々に応じた支援を検討しています。

利用者さんの中には少し前に食べた朝食や自分の行動を忘れてしまうなど、疾患だけでなく、認知症が徐々に進行したおひとり暮らしの方もいらっしゃいます。私たちは、受け取る情報に確実性がなく、利用者さんとの会話の中から推測することしかできないケースもあり、次回の訪問までの最善の対応について検討します。そして状況をご家族や担当医、

訪問薬剤師、在宅ヘルパー、ケアマネジャーなど、利用者さんに関わる人たちで情報を共有し、指示の確認や、見守りの継続ができるよう連携して対応しています。それぞれが関わることで在宅での療養が維持でき、住み慣れた場所で趣味を楽しみ、穏やかに過ごしておられるお姿をみると、地域で利用者さんを支えることの意義や重要性、やりがいを感じます。当事業所に特定看護師も所属しており、より専門的なケアの提供も可能です。利用者さんの意思決定を支え、「その人らしく生きる」を大切にした医療とケアを実践しています。



外来担当医表

(令和8年7月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総合	内科	青山 大雪	辻 俊比古	大槻 希美	浦崎 芳正	伊藤 和広
	小児科	川崎 亜希子* (15:30~)川満 徹*	川満 徹*	川崎 亜希子* (15:30~)川満 徹*	川満 徹*	川崎 亜希子* (15:30~)川満 徹*
専門	リウマチ		津谷 寛		津谷 寛	
	血液・腫瘍			浦崎 芳正*		大槻 希美 (第2・4)
	生活習慣病			桐場 千代 (第2・4)		
	老年					栗田 敦 (第1・3・5)
	神経		岩本 諒			内田 待望
	循環器	見附 保彦		見附 保彦	見附 保彦	
	外科		大槻 忠良	大槻 忠良	大槻 忠良	大槻 忠良
	整形外科	布谷 信				
	皮膚科		若原 真美*			
	眼科				吉岡 達也*	
	地域ケア		栗田 敦		桐場 千代	
禁煙外来	見附 保彦					

- 受付時間(午前診療)8:40~11:30 ● 黄色枠は予約制 ● *印は午後診察 ● 休診日/土・日・祝日・年末年始
- ※皮膚科の診察は、火曜日の13:00~15:00(受付時間14:30まで)です。
- ※最新の医療体制についてはあわら病院ホームページ「診療体制の最新情報」をご覧ください。



母の日メニュー



『ありがとう』を伝える【母の日】のおもてなしメニューとして『ケチャップライス』と『ミートローフ』をメインにした献立を提供しました。
ケチャップライスは、どこか懐かしく優しい味に仕上げ、オレンジ・黄色・緑と彩りにも工夫をしました。

令和8年度訪問学級入学式

4月8日(水)福井県嶺北特別支援学校 訪問学級の入学式が当院で行われました。
今年度は中学部に1名、高等部に1名入学されました。ご入学おめでとうございます。
これからの学生生活がワクワク楽しい毎日になるよう、病院スタッフも応援しています。



独立行政法人
国立病院機構 **あわら病院**
福井県あわら市北潟238-1
TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249
(地域医療連携室) FAX.0776-79-1261
URL <https://awara.hosp.go.jp/>

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(約5km) 乗合タクシー[事前に登録が必要です]
ハピラインふくい線「芦原温泉」駅より(約10km) 乗合タクシー[事前に登録が必要です]
※乗合タクシーを利用するためには事前に登録が必要です。
乗合タクシー(デマンド交通)は、お電話1本で、停留所から目的地の近くの停留所まで直接行けるシステムです。
《お問い合わせ先》あわら市役所 生活環境課 生活グループ 0776-73-8017